



森ボラ 通信

第234号 2021年11月20日発行
NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**
URL <https://www.shinrin-npo.info/>
札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター
TEL (fax): (011) 816-7010
E-mail: hshinrin2002@nifty.com

トピックス

◆ 初めてのゴミ清掃活動

澄川都市環境林の清掃活動に澄南小5年生65名が参加！

森の中に入るまではゴミはたいしたことないだろう、と思っていたがいざ中に入るとゴミの多さにびっくり。今までは道路路肩だけ見ていたのでたいしたことはないと思って時間をさいてまでゴミ拾いする必要があるのかと思っていた生徒もいました。札幌市環境教材の3, 4年生用「地球にやさしくしている」の中でゴミについて考える学習が掲載されています。

今回は10月15日に、すでに学習されたと思われる5年生が活動に参加され今までのゴミが自然に及ぼす影響について考えさせられたのではないかと思います。

拾っても拾っても拾うゴミがまだある。ゴミ袋も70枚程用意していたが開始30分位で尽きてしまうくらいで、出来るだけ詰め込もうと足で押し込む生徒もいました。このゴミ拾いをどの様な気持ちで活動していたのか感想文を入手出来ましたので下記に分類しました。



【5年生のゴミ清掃の感想 33名分より 複数回答(84回答)】

- 1 あまり多くないと思っていたがゴミの多さにびっくり 32
- 2 意外なゴミがあった(ガスレンジ、冷蔵庫、ブラウン管テレビ等) 17
※ブラウン管テレビをこれテレビだよって言ったら…知らないって言われた
- 3 帰りにまだ綺麗になっていない森をみてもう少し
ゴミを拾いたいと思った。又、ゴミ拾いをしたい 8
- 4 生態系に影響を及ぼすと思った 7
- 5 わざと捨てた、何でこんな事をするのか、
私たちに拾わせるのはダメ 7
- 6 その他 13

少数意見で“このままゴミが増え続けると森が埋まり自然が失われる”

“森なんてどうでもいいんだと思っている人がいっぱいいる”

などの意見もありました。



又、ゴミ拾いを行いゴミと向き合う事により深く考えるようになる生徒も出てきたと思います。今回初めて”ゴミ清掃活動”を総合学習支援に取り入れたのは有意義だったと思います。プラスチックゴミがほとんどでこれが放置されると風によって右精進川から日本海に流れ込み海の生物に影響を及ぼし、残ったゴミは徐々に分解され小さなゴミとなり森に生息する生物に影響を及ぼすと

思います。

今回のゴミの量は全体で800 kg、その内生徒が拾ったエリアで500 kgはあったと思います。なぜゴミ捨ては無くならないのか、徐々に減っているとは思いますが。（文・大窪）

■ 活動報告

◆ 第5回親子森林教室 活動報告

“秋の森の大運動会”を開催し、紅葉した澄川の森を満喫！

10月24日、天気予報が思わしくなく心配されましたが、冷え込んだものの何とか持ちこたえ「秋の森の大運動会」が無事実施されました。広い澄川森林を使い、方々に散らばる地点で夫々求められるミッション（五つ）をこなしゴールに戻るというもの。速さを競わず様々なミッションをこなすなかで、自然に触れ合い、身体を動かし、学びを深めました。



木を切るミッション～堅い木と柔らかい木を切り比べてみる

今回の参加人数は隊員17名、保護等者18名、協会員20名合計55名となりました。隊員は高学年（4～6年）を4班に、低学年（1～2年）を1班に、合計5班に分け、班単位歩きミッションに取り組みます。

ラジオ体操、ミッション内容の説明、班編成の発表等の後、高学年の班は最初の取組ミッションをあみだくじで選びスタートしました。2つ目のミッションからはどう回るかは自由。所要時間は2時間を予定。私は第1班に随行。配られた地図を手にまずはミッション

ンC「腐葉土を観察」に向かう。隊員が先行し、保護者、協会員はなるだけ隊員と距離をとり、サポートせず見守りに徹する。道の分岐点には案内表示があり、まず間違えることはない。5分程で現地着。協会員の加藤さんが説明を担当。厚く積もった落ち葉を掻き分け土をとり、そこにどんな生物がいるか。色々な幼虫に出会えるかと期待しましたがミミズ1匹のみ。天候不順のせいかしら。隊員で協議し次のミッションはD「マイリーフをとる」に決定し移動開始。6月の親子森林教室で隊員夫々が「マイリーフ」を採取した樹木園に到着。大分落葉しており、木に生えている葉を取るのは高すぎて大変な隊員は落ち葉から探す。

次のミッションA「木の高さをはかる」に移動。ミッションには場所の決まっている4つの他に、9種類の木の葉を集めるビンゴゲームのミッションがあり、移動中に地面をキョロキョロして探す。大分集まっている様子。途中、迷いそうな分岐点があったが周囲をじっくり観察し正しいルートへ。Aポイントへ到着。測定樹木はエゾ



紅葉真っ盛りの澄川の森を歩いて次のミッションへ

ヤマザクラ。大窪さんが測定方法を説明。対象樹木から離れた地点より樹木最高点を観測。その視角度に基づき距離を換算、（今回は樹木からの観測地点までの距離を10mに設定し予め作成した換算表で高さを確定）それに観察者の視点の高さを加算する。風が吹いていた為、最高点が揺れ、そのせい結果は全く同じとはならない。大窪さんよりクイズが出る。30cmほどの幼木の幹にマークがしてあり、「この木が成長し上に伸びると、このマークは上に動くか、それとも動かないか?」。答えは動かないでした。最後のミッションB「木を切る」に移動。スタートの広場のテント小屋前にはリーダーの矢野さん始めサポートの協会員が一杯。柔らかい木と堅い木の2種類の木を切り、その硬さの違いを感じたり、木のニオイを嗅ぐ。引き切った木片はお土産に持ち帰り。ここでほぼ2時間、全ミッションを終わり、他の班も戻り昼食、休憩タイム。



昼食後のアトラクション～薪割りに挑戦

昼食後は休憩タイムを使い、薪割り、木登りに挑戦。薪割り用の器具を使い、割る木をセット、斧は使わず割る木を槌で叩くやり方。割る木は太いので中々割れない。割る人もそれを応援する人も段々熱くなり割れると歓声上がる。隊員よりも保護者の方が熱くなったようでした。木登りは木にセットされた梯子を使い5m程登り木にマークされた手形にタッチしてゴール、その高いところから森の様子を観察してもらう。子供

は胴体にバンドを装着しカラビナで命綱に連結し安全を確保した上で木登りに挑戦。怖がらない隊員はひょいひょいと登り何度も繰り返し。

活動を全て終わり最後は清澤・松藤さんが結果発表と纏めを行いました。シイタケを植菌した原木を希望者に貸出。本来なら収穫したシイタケ、ナメコをお持帰り頂くのですが、今年是不作、コクワ刈りも予定していたところが他人に採られ全滅で、広場近くでちょっと採れただけでした。全て終了し解散するころにはぐっと冷え込み、冬が近づいているのを感じた一日でした。(文・高橋)

■ 澄川の自然 27

ハウチワカエデ (カエデ科)

写真は、キャリコ橋から沢沿い、西側の土手に4~5本あるハウチハカエデの一部です。丁度、陽光がさし、燃える様な今一番見頃な紅葉になっていました。

形は天狗の羽団扇に似て9~11に浅く裂け、葉柄は葉身の1/2~1/4と短い。小さな赤い冬芽から春になると2枚の葉っぱが出てその間から真っ赤な蕾を出すと、春の山脈があちこち赤く染まります。ハウチハカエデは別名、名月カエデとも云われ英名はフルムーン・メープル、直訳ですね。(写真/三橋・文/西野(澄))



■ おしらせ

◆「澄川都市環境林の今後のあり方等に関する検討会」の開始

森ボラのベース活動地である澄川都市環境林は札幌市が所有する森ですが、森ボラは“豊かな生き物を育む巨木の森”を目指してこれまで計画的に育林活動を行ってきました。現在は「2018 澄川環境林基本計画」に基づく「第4期5か年目標」(2018~2022年度)の達成を目指して活動しています。そして、今、協会創立以来手掛けてきた整理伐(傾斜木・枯損木の除去や株立ち木の整理)があと2年程で一巡する予定であることと、2023年度からの第5期5か年目標の策定作業に入る時期を迎え、澄川都市環境林を今後どのような森にしていくのか、あらためて育林と利活用の両面からの検討が必要と考えています。

一方、札幌市も市内に所有する37箇所の都市環境林を今後どのようにしていくか検討したい意向があり、札幌市みどりの管理課との協議を12月から始めることになっています。

このため、これに先立って森ボラとして会員の意見集約を図りたいと考え、とりあえずは幹事会メンバーに知見・経験のある酒井さんを加えた検討会を立ち上げ、これまで2回にわたり、澄川都市環境林の今後のあるべき方向、二順目となる整理伐の取組み方、環境教育のウエイトの高まりへの対応策などについて検討を重ねてきました。都市環境林の利活用の先行事例と言われている白旗山都市環境林を視察してきました。あと1回の検討会で揉んだ上で、11月30日に予定している会員例会で検討結果を説明して、会員全体の意見集約を図り札幌市との協議に臨みたいと考えています。この機会に是非、会員の皆さんの多くの声をお聞かせください。(事務局)

■ 今月の幹事会

出席者(11月5日):大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井・松藤・矢澤・矢野

1. 2021年12月、2022年1月スケジュール(12月幹事会12月8日(水))
2. 11月以降のコロナ対策:第五波は沈静化しているが慎重な行動を継続。
3. 2021年10月会計報告と過去の訂正について:項目移動を了承。
4. 第5回親子森林教室の報告および2022年度の計画:了承。親子森林ボランティアの計画を推進。
5. 森林・山林多面交付金事業10月の活動報告:了承。
6. 澄川都市環境林第2回検討会の報告:継続検討。第3回は11月21日開催。
7. 2021年度第2回理事会議案書について:了承
8. 現場報告
 - ・10/9 キノコ栽培指導員及川氏による現地指導。 ・10月の支笏湖活動。
 - ・10月の澄川南小活動。 ・10/29 モニタリング調査。
9. 現場対応
 - ・11/1 野幌道有林活動(最終) ・11/3 道民森づくりの集い(サッポロさとらんど)
 - ・11/4 多面森林山村アドバイザー現地確認(水明郷) ・11/4,15 澄川南小5,6年生ネームプレート作成
10. その他
 - ・助成申請状況(野幌「社会貢献の森」:申請予定。 ・冬季セミナー講師、講演内容:継続検討。
 - ・スタッフ補佐要員の登用:山口会員了承。 ・DropBox のアップグレード:了承。
 - ・活動写真撮影用カメラの更新:了承。

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
10月17日(日)	澄川	20	第5回親子森林教室「秋の森の大運動会」
10月19日(火)	手稲山口緑地	10	札幌市育樹体験会
10月20日(水)	有明(最終)	-	降雨のため活動中止
10月22日(金)	澄川	18	クズ駆除、苗畑整備、秋の林内観察会
10月25日(月)	野幌道有林	10	植樹、ツリーシェルター取付、国有林状況視察
10月27日(水)	澄川(有明)	19	澄川南小4年生総合学習支援、(モニタリング調査)
10月29日(金)	澄川	14	澄川南小6年生卒業記念植樹、モニタリング調査
11月1日(月)	野幌道有林(最終)	11	生長調査、チップ敷設、樹木調査まとめ
11月3日(水)	サッポロさとらんど	7	道民森づくりの集い出展
11月4日(木)	澄川・学校	14	笹刈り、ホダ場整備、澄川南小6年生ネームプレート
11月4日(木)	支笏湖(水明郷)・ラルズ	2	多面森林アドバイザー現地立会、書類確認
11月5日(金)	ラルズ生活研究センター	10	幹事会
11月7日(日)	澄川	13	モニタリング調査、D地区作業道整備、親子準備
11月8日(月)	札幌エルプラザ	5	第2回理事会
11月11日(木)	澄川	21	冬季整理伐調査、ホダ木採取、標準地調査
11月15日(月)	澄川・学校	14	澄川南小5年生ネームプレート、冬季整理伐調査